

## 20周年記念 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	NPO 法人みんなダイスキ松山冒険遊び場
開催日時	2月16日 14:00～16:30
テーマ	不登校支援フォーラム
形式	ワークショップ
講師等	一般社団法人フリースクール愛媛 フリースクールエルート 孕石修也 体験学習スクール春夏秋冬 平田由紀子 一般社団法人フリースクール楓 加藤美樹
参加人数	合計 46名（女性 38名，男性 8名）
実行委員数	合計 11名（女性 8名，男性 3名）

### 〈内容〉

今回の不登校支援フォーラムは昨年度立ち上がった「愛媛県フリースクール等連絡協議会」のメンバーが登壇にたち、参加者の質問に答えたり、これからの不登校支援の在り方をワークショップ形式でみんなと一緒に考えそれをまとめました。

- 14:00～14:30 国の動きと愛媛県下の不登校支援の動向
- 14:20～15:00 各団体の紹介
- 15:00～15:30 参加者からの質問に答える
- 15:30～15:40 休憩
- 15:40～16:15 ワークショップ
- 16:15～16:30 グループ内でまとめた内容を発表する



### 〈参加者の声〉

分野は違うのですが自分で考えていたこととほぼ同じだったのはびっくりしています。今自分でもどうするか考え中なので活動見させていただき勉強させてもらいたいと思います。

今日はたくさんの団体や家庭の話が聞けて良かったです。経営面など問題はたくさんあると思いますが、少しでも子どもたちにとって良い社会になるように、そして大人も楽しく生きられるようにして行けたらなと思いました。時間が合えばボランティア等で手伝っていただけるとなっています。もっと自由な教育の場を作っていきたいですね。今日は本当にありがとうございました。

定例の会をお願いします。県身障センターは無料で会場を使えますのでぜひ。

フリースクールや不登校に関する情報を知ることができ、大変参考になりました。この情報を今後役立てて行きたいと思います。

フリースクールの料金面（とても高い）を改善して利用しやすくしていただきたい。

送迎の面も身動きの取れない親支援を考えていただきたい。

当事者の親と不登校のノウハウのあるスタッフとの話し合いの機会は必要（親を不安にさせない）

親がフリースクールに行かせていることに安心しきってはいけけないので親が元気であることが大切。親支援はとても大切。

小さな事しかできませんが、何かかかわり続けたく思います。

貴重な話ありがとうございました。

フリースクールの現状を知りたく参加させてもらいました。素晴らしい説明でよく理解できありがとうございます。経済的な面が不安な感じで個人のボランティアでなく組織で協力する方法に力を入れるべきだと思う。

フリースクールが理念を外さず活動できる資金支援は必要と思う。活動をどんどんオープンにして理解者を増やせるといい。教師や子ども支援に関わっている人への講演や啓発をお願いしたい。行政は学校より全体的にサポート（相談）できる場を作ってほしい。

ワークショップの時間は良かった。親も話せる場が大切だと思った。

「教育を受ける義務」学びたくても学校に行かないと学ぶ意欲がなくなり自信を無くしている子へ公的支援をもっと導入してあげないと「社会」としてその義務を果たしていないことになるのでは？もっともっと働きかけが必要だと思う。子どもにも学校へ行く・行かない、行きたい「場所」を選べる権利を与えてあげたい。

今回のような機会を増やしてほしい。生の声が聞けて嬉しかったです。

フリースクールの理解や料金の低下を望みます。

新居浜のあすなる教室は民間のフリースクールがないせいか、人数が激増中と聞いています。学校が苦手なのに多すぎる人数で落ち着かず通えません。松山は選択肢が多くてうらやましいです。

各フリースクールに携わっている方々の子どもたちに対する誠意のある真剣なお気持ちがとてもありがたく感じました。今はまだ自分の子どものことで精一杯ですが落ち着いたときに不登校や困っている子供たちの支援に何らかの形で関わりたいと思っています。ワークショップは悩みを共有できたので自分一人で悩んでいるのではない、と安心しました。

フリースクールの料金が低い。県か国の支援があればいいのに。

県がフリースクールを東・中・南予に作ってほしい。

お母さん方の話を聞いていると不登校の裏には発達の特徴があるように思いました。障害は福祉の枠内に入れるけど、不登校は置き去りになっている。お母さんが共感して話せる場があればいいのに。有意義な時間になりました。ご尽力いただきありがとうございます。

フリースクールに行き始めた親から、授業料がちょっと高いかな？という話があります。また、市内にはフリースクールの数は増えてきましたが、周辺の地域は少なく、交通手段で悩んでいる人も多いです。市などの公的機関が建てた施設で十分に生かし切れていないことが多いと思います。いろんな分野の人が集まり、周辺整備をしてほしいです。

活動の輪がどんどん広がるといいと思いました。行政にもどんどん介入してもらえるといいです。フリースクールのこととてもよくわかりました。ありがとうございます。

不登校への理解・支援が広がりますように。

教育行政・学校が知らなくてはいけないことがたくさんあると思いました。今日のお母さんたちの声、忘れません。必ず何かどこかにつなげていきます。

フリースクールの代表の方々がつながろうと(つながって)しているのがすごいと思いました。これからもつなげていけたらと思いました。

民間支援と公的支援、ダブルで子どもたちが生きやすい環境を作る力になりたいと思います。

不登校支援が少しずつ前に向かっていく気がして嬉しかったです。このような機会がもっと増えることを願っています。

フリースクールの情報や皆さんの話が聞けて良かったです。こういう場が増えてほしいです。

登校や授業料への経済的支援がもっとあるといい。子供は松山だけではない。田舎にもいます。学習支援教室の指導者への学習会なども良いのでは。子どもは学習支援教室の先生は学校の先生と同じで「～してください」と言うから嫌だと言っています。

今日はお疲れさまでした。これからも頑張ってね、他人事のように言っていますが、毎日のように学校に行き辛い子達を見ていると普通に学校に行っている子を見ると「えらいなあ」と逆に思ってしまう。

ワークショップでいろんな意見が聞けて良かった。フリースクール運営側にも金銭的に大変なんだということが改めて分かった。学校自体(?)教育カリキュラムが変わるほうがお金の面でも効率的なのでは?プログラミングとか義務教育で不要じゃないのかな。

フリースクールの実情が今まであまりわからなかったのが、話を聞いたりパンフレットで知ることができました。困り感のある人がたくさんいて、自分だけじゃないと安心感を持ってました。

またこのような機会を設けてほしいかなと思います。家の中であれこれ考えていてもらちが明かないことがたくさんあるのでよろしくお願いします。できれば当事者本人も参加しやすい内容だともっといいです。今日はありがとうございました。

いろいろ実情が聞けて良かったです。自分は医療福祉関係の支援者なのですが、フリースクールや通信制で多様な対応が可能になったとしても、その後の受け皿としてのマッチングが現実的に難しく、課題に感じています。またこのような機会があれば参加したいです。

不登校の子を持つ親の気持ちを聞くことができました。

最初入ったときはどんより重い空気だったけど、終わった時にニコニコしている人が多くて、みんな気持ちが上向きになったように感じました。「子どもの良いところと言えるお母さんは絶対大丈夫」の言葉に救われました。

フリースクールの財源を安定してもらえるよう国がサポートしてほしい（送迎の点も含め）。学校でもフリースクールなど不登校などの情報提供してもらいたい。

各フリースクールの内容について知ることができたのは良かったです。他県（先進県）のように公的援助があればいいと思います。日中一人で過ごす子どもがフリースクールに通うよう交通手段があればいいと思います。今できることをありとあらゆる手を使って情報を入手していますが、子どもの支援につながりません。（本人が拒否するため）お話の中で待つ時間を…と言われましたが4～5か月待っています。いつまで待てば、と思っています。

4か所のフリースクールについての情報を一度で聞いて参考になりました。

子ども3人中2人学校に行っておらず、1人（1番下の子）はなんとか行けている状態です。体調を崩してまで学校に行く必要はないと親としては思うが、フリースクールだけにするには金銭的に厳しい。もう少し補助金が出ると行かせやすい。

不登校の子どもにとって、まだまだ居場所が少ないと思います。（東予の方にはフリースクールなどがほとんどありません）学校に行けなくなった子は家にいるか、何とか学校に行く努力をするかの選択をしていて、親子ともに疲れている人を何人も知っています。親も悩んで不安定になるので親も人とつながるサポートが必要だと思います。

今後もっと不登校の親や関係者が気軽に話し合える場が増えると良いなと思いました。ありがとうございました。

#### 〈まとめ〉

今回のフォーラムをきっかけとして、愛媛県フリースクール等連絡協議会も立ち上がり、不登校の子どもたちのために頑張っている人たちと繋がることができました。また参加いただいた人たちも積極的にお話をして下さり、さまざまな意見が出ました。今度の活動のためにこの情報を利用していきたいと思います。また、引き続き不登校支援の活動を続けていきたいと思います。